

平成24年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 1 項 商業費
 4 目 貿易振興費

経済通商総室[通商物流室](内線:7659)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
環日本海物流円滑化推進事業	21,900	10,160	11,740				21,900	
トータルコスト	29,141千円(前年度 15,752千円)[正職員:0.9人]							
主な業務内容	企画調整、委託契約事務、補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	境港の物流拠点化:境港コンテナ取扱量増加 (貨物取扱量 目標 5,200千トン、コンテナ取扱量 目標 21,900TEU)							

説明

1 事業の概要

環日本海諸国地方政府や企業と連携しながら、環日本海地域と境港を結ぶ物流ルートの確立や貨物の創出に向けた会議を創設するとともに、トライアル輸送及び輸入貨物への支援を行うことにより、環日本海物流の円滑化を推進する。

2 事業内容

(1) 鳥取県・黒龍江省物流促進会議 (400千円)

環日本海定期フェリー航路及び中露国境を経由する物流ルートの円滑化に向けて、中国黒龍江省及びロシア極東の地方政府、物流企業等との合同会議を開催し、当該ルートの円滑化のための具体的な協力方策について話し合う。

- 参加団体 (行政) 黒龍江省、鳥取県
(民間) 物流企業、商社、荷主企業、経済界代表 等
- 開催地 中国黒龍江省ハルビン市 ○開催予定時期 平成24年8～9月

(2) 環日本海定期貨客船航路輸送ルート開拓トライアル支援事業 (6,500千円)

H23年度に引き続き中露国境ルート等の物理的障害、コスト的な問題点を検証し改善策を検討するなど、競争力のある環日本海物流ルートの構築を目指す。

【要件】

市場性がありかつ継続性が高いと判断される貨物の試験輸送を県が委託する。委託する事業は新規性(新規商材、新規輸送方法等)があると認められる試験輸送に限る。

【限度額】1試験輸送当たり130万円 ※5事業を限度とする。

(3) 境港対北東アジア貨物輸入促進支援事業 (15,000千円) ※平成24年度限りの事業とする。

中国東北部等からの貨物(資源、原料、食品等)で、将来に渡り継続的に輸入の可能性のある貨物に対し、物流経費の一部を支援することにより、境港の輸入拠点化を図る。

対象事業者	環日本海定期貨客船航路を利用して境港へ貨物を輸入する者
対象品目	中国東北部(吉林省、黒龍江省)及びロシアで生産される原料・資源(飼料・堆肥、穀物、鉱石、水産品、木材等)で日本国内で市場性があり、将来に渡り継続的に輸入の可能性が高いと判断される貨物
補助額	1TEU当たり10万円 ※1TEU→20フィートコンテナ(長さ6メートル)1本分に換算した貨物量
限度額	1事業者当たり300万円 ※5事業者を限度とする。

3 これまでの取組状況、改善点

- ・H23年度の中露国境トライアルによって、ロシア区間の保税輸送が可能ながことが判明し前進もあったが、ウラジオストクターミナルのクレーン能力不足、中国での空コンテナ手配困難、中露国境通関時の重量制限など課題も明らかになった。
- ・H23年度の課題を踏まえ、黒龍江省、船会社、物流企業等と連携し、中国・ロシア政府、ロシア港湾管理者等に改善を働きかける。
- ・H23年度に引き続きトライアル輸送を実施し、より多様な商材について、輸送ルートとしての物理的安全性を確認するとともに、早期に貨物の流れを作るため、輸送コスト高をカバーしながら実輸送の実績を重ねて問題点を一つ一つ解決していく必要がある。